



教員から皆様へ

若井明彦教授：コロナ禍による環境変化で、普段にないご苦労をなさっている方も多いのではないのでしょうか。大学では前期に加えて後期授業も（演習や実験科目を除き）オンライン講義が続いており、学生との研究活動も四苦八苦の連続です。とくにネガティブな思考に陥りがちですが、コロナ禍でなければ気づくことのできた新しい知識の収穫を楽しむくらいの気持ちで、蔡先生とともにこれまで以上に研究室の活性化に努めて参りたいと存じます。

蔡飛准教授：OB・OGの皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。2020年はかつて経験したことのないコロナの影響を受け、自粛生活を余儀なくされ、大学は講義や学生実験までもzoomで行われました。来年には一日も早くコロナが収束されることを祈っています。

OB・OG会新聞作成の背景

2020年度OB・OG会の中止にあたり、研究室の近況をお伝えする機会がなくなっていました。また、例年開催しているOB・OG会の参加が難しい方々へ研究室の近況をお伝えしたいと思い作成する運びとなりました。少しでも研究室に関心を寄せていただけたら幸いです。また、来年度のOB・OG会を開催できることを願っております。

OB・OG会幹事団

現在の研究室の様子

7号館

5階に地盤工学研究室がございます。また、社会基盤・防災コースの研究室合同の建物ですので、構造研や水理研などの研究室も使用しています。



研究室の現状

現在、教授2名、博士2名、修士12名、学部14名の計30名で活動を行っております。また、昨今のコロナ禍の影響により、ゼミや打ち合わせ、研究室での飲み会などはすべてオンラインで行っております。

今年度の学会発表は、中止またはオンライン発表になりましたが、そのような中でも修士2年の酒井宏豪が日本地すべり学会の第59回研究発表会若手優秀発表賞をいただきました。また、11月27日に第17回地盤工学会関東支部発表会が開催されました。オンラインでの発表となり、自宅からの発表という珍しい発表形式にはなりましたが学部4年生を中心に発表を行いました。

現在は、来年2月19日・3月1日に開催される修論・卒論発表会や来年開催される学会発表に向けて研究活動に励んでおります。

研究室

大部屋・小部屋の2室あり、学生の研究・交流の場です。



三軸室

三軸試験の他、ゼミや会議に使用しています。また、今年はコロナ禍の影響でオンライン飲み会になってしまいましたが、毎年4月に開催される花見会の会場にも使用しています。



実験棟

実験や学生の講義に使用しています。また、夏にはBBQ会場にも使用しております。



今年度内定者の就職先

〈修士〉

清水建設株式会社：2名
株式会社建設技術研究所：1名
東日本旅客鉄道株式会社：1名
オリエンタル白石株式会社：1名

〈学部〉

埼玉県庁：1名
JR東日本コンサルタンツ株式会社：1名
東鉄工業株式会社：1名